

| | | | | |
|---|----------|----------------------------------|------------------------|------|
| 1 | 課題番号 | 研究課題名 | 研究代表者 | 評価結果 |
| | 17100001 | 知能ソフトウェアに基づくグローバルな通信セキュリティに関する研究 | 溝口 文雄（東京理科大学・理工学部・教授） | A |
| <p>（意見等）</p> <p>インターネット世界の重要課題である通信セキュリティに関して、協調型分散監視・処理等、従来の研究とは異なる独自のアプローチで研究に取り組んでいる。これまでに申請時の計画を全て遂行し、次年度に予定されていた課題に着手する等、その進捗状況も順調である。</p> <p>また、プログラムやツールを公開・試用する等、成果の具体化も行われている。今後は、各要素技術ならびに開発システムの機能や有効性を詳細に評価・検証しつつ、優れた成果が上がることを期待したい。</p> | | | | |
| 2 | 課題番号 | 研究課題名 | 研究代表者 | 評価結果 |
| | 17100002 | 装着型全方位ステレオ監視システムの提案 | 八木 康史（大阪大学・産業科学研究所・教授） | A |
| <p>（意見等）</p> <p>本研究は概ね順調であり、これまでのところいい成果が得られている。今後はさらに完成度を高め、システムの実用化に向けてなお一層推進して欲しい。また、成果の発表、公表状況も良好であり、表彰実績があることも高く評価できる。</p> <p>今後は、提案手法や開発された装置の実環境の様々な状況に対する頑健性（robustness）を検証することや、実際に装着した際の、行動への影響や快適性等の評価も期待されよう。また、利用者の多様性（学童から熟年者、高齢者まで）にどの程度対応できるかも、検討して欲しい。</p> | | | | |